

# 第73回 神奈川県公園等審査会

資料5

座間谷戸山公園 基礎情報シート(自然環境保全型用 sample)



水鳥の池と雑木林の紅葉



わき水の谷



水田と雑木林の里山風景

# 1 現 状

Sample

- 県立都市公園では、平成18年度から指定管理者制度を導入し、現在は、第4期目（令和4～8年度）
- 県立都市公園27箇所のうち26箇所で指定管理者制度による管理運営を実施
- 観音崎公園たたら浜でPark-PFI（バーベキュー場）、湘南海岸公園でPFI（新江ノ島水族館）を実施



Kanagawa Prefectural Government



**辻堂海浜公園（藤沢市）**  
令和6年度 利用者数 約169万人  
【指定管理者 県公園協会、小田急電鉄他】



**四季の森公園（横浜市）**  
令和6年度 利用者数 約52万人  
【指定管理者 県公園協会、サカタのタネ他】

## 2 座間谷戸山公園の基礎データ

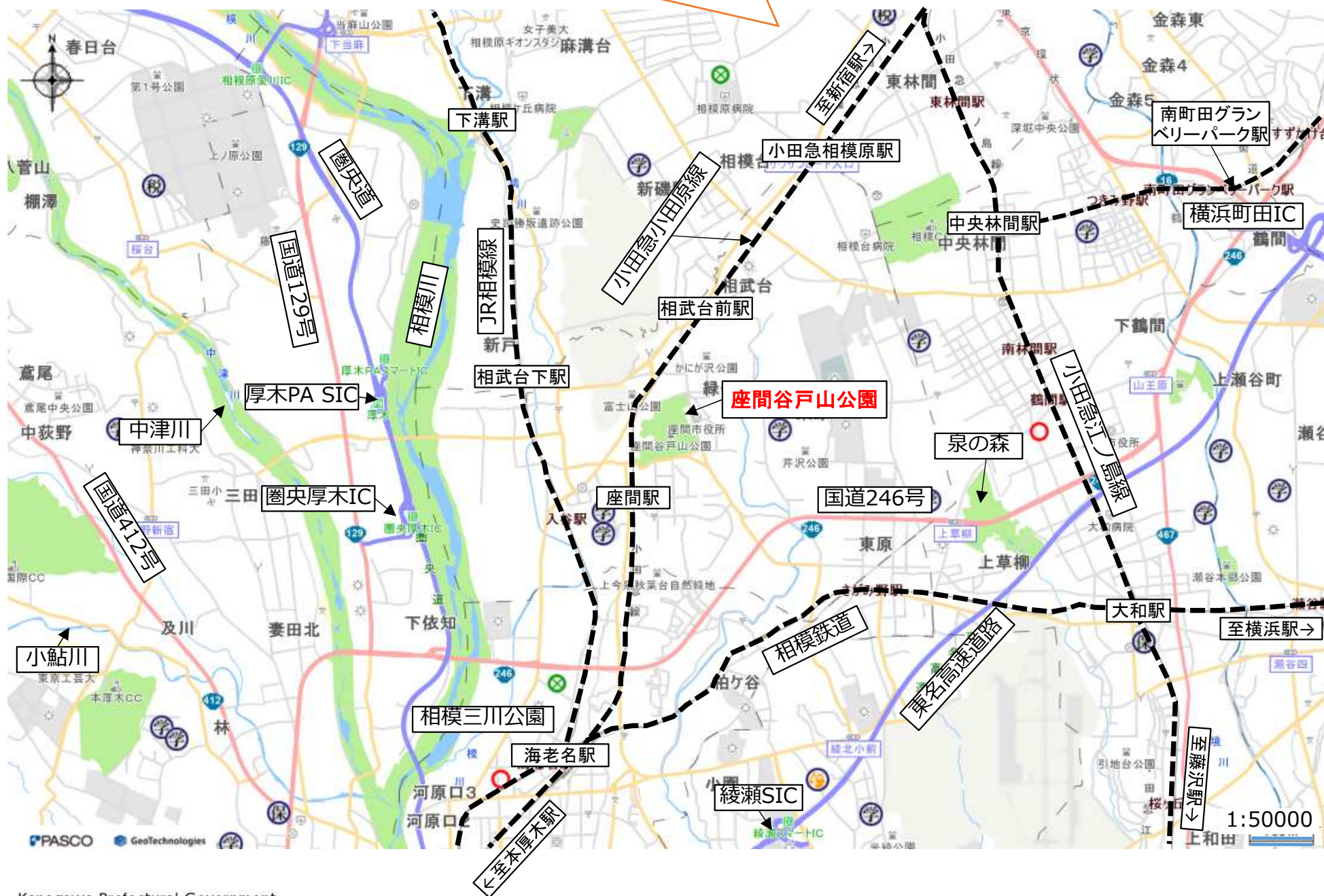
Sample

公園名	座間谷戸山公園
公園の特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・本公園は、自然生態観察公園（アーバンエコロジーパーク）として全国で初めて整備</li><li>・谷戸が育む多様な自然環境に生息する多くの生き物を身近に観察ができ、都市部において手軽に身近な自然とふれあえることができる風致公園</li></ul>
アクセス	<ul style="list-style-type: none"><li>・小田急線「座間駅」から徒歩10分</li><li>・小田急線「相武台前駅」から徒歩15分</li><li>・東名高速道路「横浜町田IC」「綾瀬SIC」より約20分</li></ul>
駐車場台数	普通車146台（東入口駐車場78台、北入口駐車場39台、多目的広場駐車場29台）（無料）
主要施設	里山体験館、パークセンター、野鳥観察小屋、ログハウス、水鳥の池、湿生生態園、クヌギ・コナラ観察林、シラカシ観察林
既設収益施設	テニスコート（座間市管理）
建ぺい率	0.35%
来園者数 （R6年度）	461,791人(4月:41,316人、5月:43,460人、6月:39,565人、7月:36,260人、8月:32,563人、9月:33,663人、10月:43,447人、11月:50,846人、12月:34,881人、1月:36,248人、2月:35,742人、3月:33,800人)
主なイベント	4月:ヤマヤママーケット(約4,500人)、5月:スマイルマルシェ(約3,000人)、10月:スマイルマルシェ(約4,000人)、11月:煌めき写真展(約1,200人)、ヤマヤママーケット(約2,000人)、SDGsフェス(約1,000人)、公園まつり(約5,000人)
管理手法	指定管理者制度
用途地域等	市街化調整区域
主な法規制等	埋蔵文化財包蔵地、鳥獣保護区

### 3 公園の周辺状況

E-かなマップ  
1100×700ピクセル 1:5万

Sample



## 4



# 4 公園の魅力とめざす姿

Sample

## 【公園の魅力】

### ○ 自然生態観察公園（アーバンエコロジーパーク）

都市化が進み、緑が減少していく中で自然とのふれあいのニーズが高まっていたなか、座間市の中心部にまとまった樹林地や谷戸地形が残されていたことから、従来の施設導入型の都市公園ではなく、自然環境を生かしながら自然とふれあえる公園づくりをすべく、日本で最初の自然生態観察公園（アーバンエコロジーパーク）として整備。

### ○ 生きた自然博物館

谷戸地形に代表される湿地環境と斜面の雑木林で構成され、その空間に様々な生きものたちが生育・生息しており、散策しながら自然とふれあうことで楽しく里山環境のことを学ぶことができる。

### ○ 自然を活かした様々なイベント体験

谷戸地形湿地環境と雑木林を活かし、自然観察会、雑木林管理、田植え、農作などの様々な体験をすることができる。

個別公園計画「1-2 公園の特性」から抜粋

## 【公園のめざす姿】

### ○ 県央地域に残る「里山・谷戸」の景観や、動植物の生息環境の保全を図る

### ○ ボランティアによる里山保全活動を通じた里山景観の保全、生物の多様性の確保を図る

### ○ 地域の避難利用の場として、災害時における防災機能を確保する



# Sample

- ・谷戸をせき止めて作られた人工池(水鳥の池)を中心とするゾーン。
- ・野鳥やホタルなど水辺の動植物、およびその生息環境の保全・育成を図るとともに、観察・観賞ができる。

- ・谷戸のゾーンを取り囲む斜面と尾根を含む樹林地のゾーン。
- ・雑木林をはじめとするさまざまな里山の樹林とそこに見られる動植物の生態を観察・観賞できる。

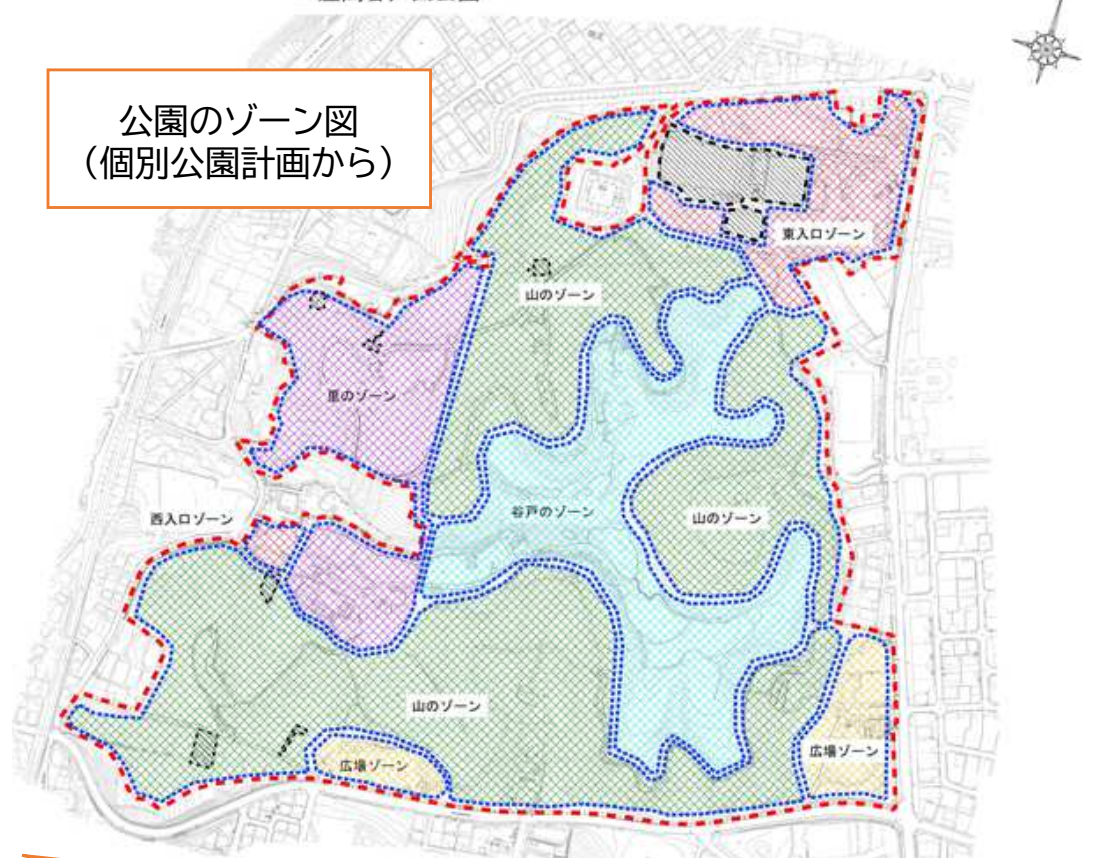
- ・谷戸入口の水田と畑を中心とする「里」の風景、及び自然環境をテーマとしたゾーン。
- ・ボランティアや県民協働による維持管理活動に特に尽力するゾーンで、人と自然が調和し、人と自然が共に生き生きとした里山風景の創造と保全を進める。

- ・幹線道路に接し、公園利用者が集中する本公園のメインエントランスで地域振興や市民活動の場として各種イベントができる広場になっている。
- ・ごみや落ち葉の清掃を徹底し、清潔で快適な管理レベルを維持するゾーンであり、各公園施設への導入部であることから、パークセンターを活用し、各種自然情報や公園施設の案内、イベント情報、マナーや注意事項などの情報提供を行う。

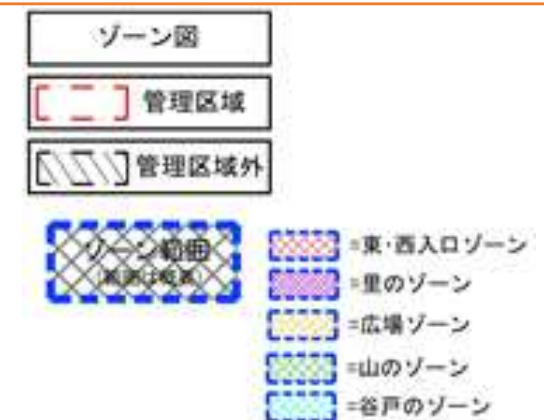
- ・小田急電鉄座間駅及び座間市街地からのアプローチに対するメインエントランスで、ごみや落ち葉の清掃を徹底し、清潔で快適な管理レベルを維持する。
- ・各公園施設への導入部であることから、公園施設の案内、イベント情報、マナーや注意事項などの情報提供を行う。

- ・幹線道路に接し、外部からアプローチしやすい広場であり、休息や軽運動の場として快適な利用が出来るよう、管理する。

公園のゾーン図  
(個別公園計画から)



個別公園計画「3-3 ゾーン別の方針」から抜粋



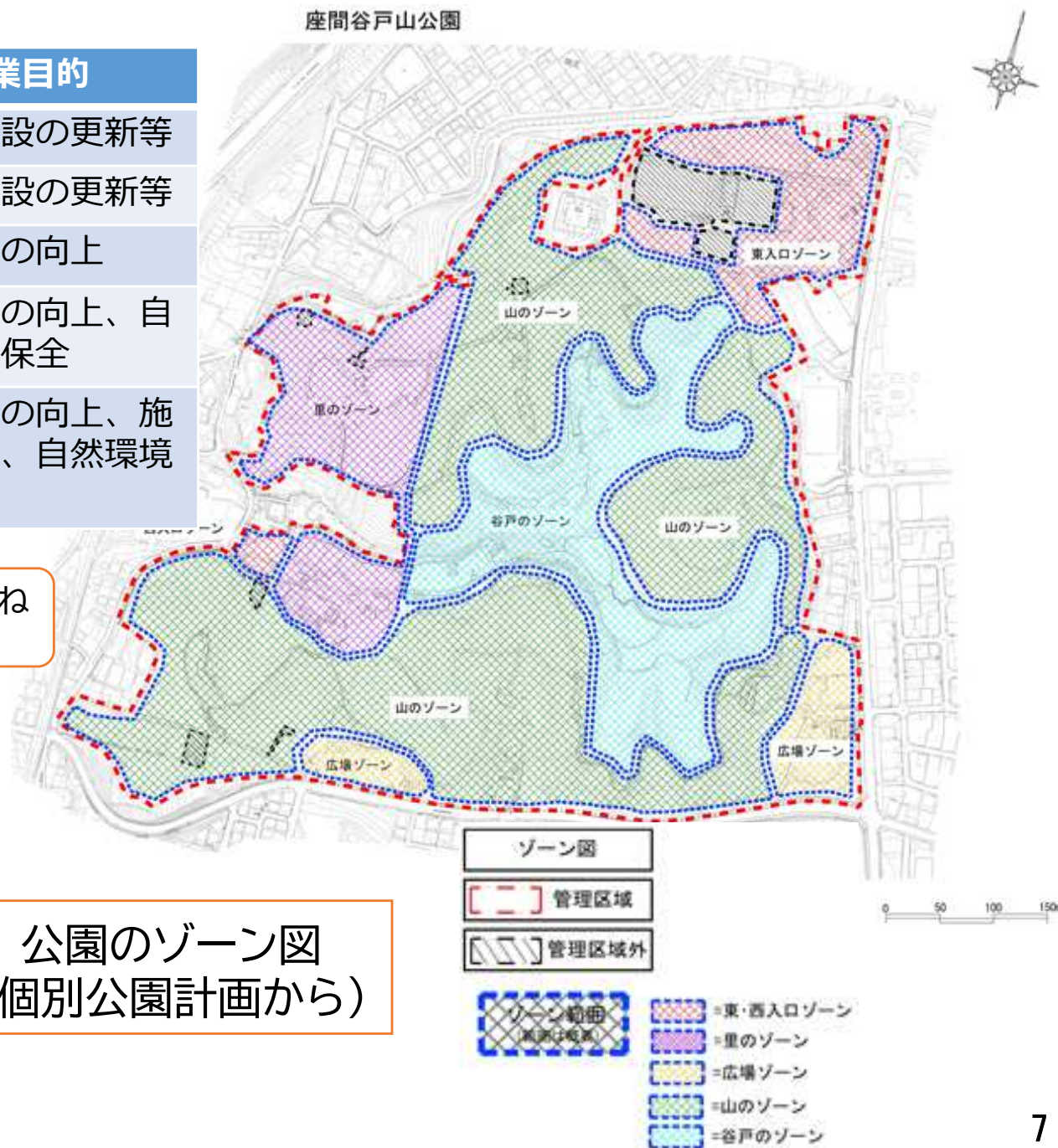
# 6 重点的な整備を検討している施設

Sample

名称	所在ゾーン	事業目的
園路・木道	全域	老朽化施設の更新等
四阿	全域	老朽化施設の更新等
誘導案内板	全域	防災機能の向上
樹林地・水辺環境整備	全域	防災機能の向上、自然環境の保全
(都)座間南林間線関連事業	東入口ゾーン、山のゾーン、里のゾーン	防災機能の向上、施設の充実、自然環境の保全

個別公園計画「3-4 整備の方針」(2)おおむね10年以内に着手すべき主な事項から抜粋

公園のゾーン図  
(個別公園計画から)



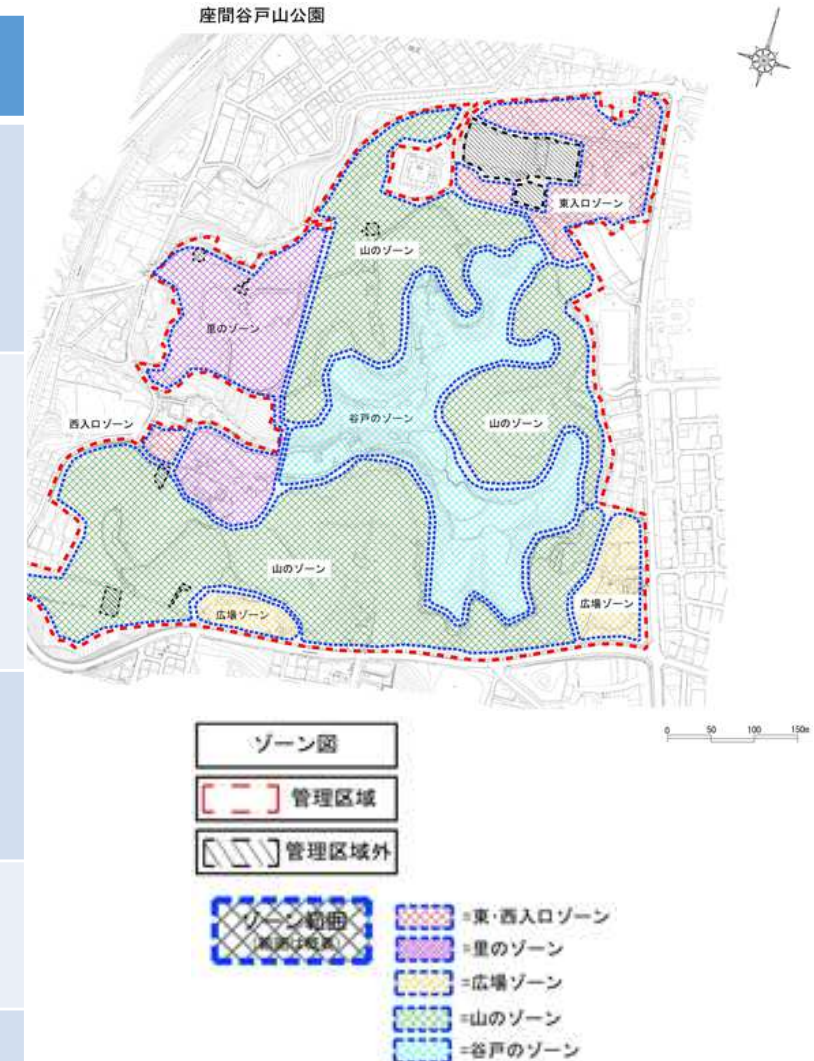
# 7 想定する自然環境管理イメージ

Sample

ゾーン	自然環境要素	自然環境管理イメージ
①谷戸のゾーン	湿地環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>湧き水の谷、湿性生態園、水路は、ホタルや湿性植物、水生動物の生育・生息環境が保全されるようボランティア団体と協働して管理を行う。</li> <li>水鳥の池、カエル池は生息する在来種が保全されるようボランティア団体と協働して管理を行う。</li> </ul>
②山のゾーン	雑木林	<ul style="list-style-type: none"> <li>里山林保全のため、可能な範囲で計画的な萌芽更新(10~15年更新)を行う。</li> <li>巨木化し萌芽更新が難しい樹木のうち、人的・物的被害が及ばない樹木は保護し、園路広場沿い等倒木により危険が及ぶ恐れのある樹木は、伐採して林床に光が届くようにする。</li> <li>必要に応じて、園内で収穫した実生で補植する。</li> </ul>
	シラカシ林	<ul style="list-style-type: none"> <li>シラカシ観察林のシラカシは極相林としての管理を行う(保存)</li> <li>観察林以外のシラカシ林は、植生遷移が進まないよう、ランドマーク・シンボリックな樹木を除き伐採する。</li> </ul>
	スギ・ヒノキ林	適切に間伐を行い、林床に光がとどくようにする。園路広場沿いで、倒木の恐れがある樹木は伐採し、必要に応じて園内ベンチなどに活用する。
③里のゾーン	水田、畑地	ボランティア団体や県民の参加を促し、田植え、収穫等の里山体験を行う。

## 【指定期間の基本的な考え方】

雑木林や湿地などの自然環境を安全管理及び生態系保全の観点からボランティア団体等と協働しながら包括的に管理していく必要があることから、そのための適切な期間を確保するため、指定期間を10年間とすることを検討する。



## 公園のゾーン図 (個別公園計画から)

当公園の自然環境管理を適切に行う手法例であり、左記以外の提案を妨げるものではありません

# (参考) 座間谷戸山公園里山管理区分図(植生図)

Sample



縮尺 1 : 3500  
0m 25m 50m 100m

凡 例  
■ 植生管理区分(草地・広場系)

表示色	管理区分	図面表示番号
紫	刈込物手入れ (中低木剪定・人力草取り)	3-4 ~ 3-80
黄	人力草取り (崩れ石積部)	3-81 ~ 3-94 ○囲みで、近隣地との境界を明示する
緑	機械草刈り (草原等、湿地・水路部含む)	2-1 ~ 2-54
濃緑	機械草刈り (園路脇)	2-55 ~ 2-113 ○囲みで、近隣地との境界を明示する
オレンジ	機械草刈り (急斜面部)	3-1 ~ 3-3
浅緑	芝刈り	1-1 ~ 1-9
水色	水田	4-1 ~ 4-9
ピンク	植込花壇	6-1 ~ 6-5
茶色	菖蒲田	5-1

■ 樹林地等管理区分

表示色	管理区分	図面表示番号
黄緑	二次林管理 クスギ・コナラ林 (長伐木林)	なし
濃緑	二次林管理 クスギ・コナラ林 (短伐木林)	〃
黄	二次林管理 クスギ・コナラ林 (スギ・ヒノキ林からの移行)	〃
黄	二次林管理 ムクノキ・エノキ林	〃
茶色	二次林管理 スギ・ヒノキ林	〃
濃緑	二次林管理 竹林	〃
濃緑	シラカシ林 (種相林移行林、種相林)	〃
濃緑	池	〃

■ 利用施設管理区分

表示色	管理区分	図面表示番号
オレンジ	ウッド系舗装	なし
濃緑	自然系舗装 (砕石等無固着系舗装)	〃
濃緑	固着系舗装 (アスファルト等)	〃
濃緑	自然石舗装	〃

# (参考) 事業実施にあつて考慮すべき規制区域図

Sample

都市計画図(出典:座間市ホームページ)



埋蔵文化財包蔵地(出典:座間市ホームページ)



鳥獣保護区等位置図(出典:神奈川県ホームページ)



・図の詳細については、出典元をご参照ください。

- ・本資料に記載の情報は、令和7年〇月現在のものです。
- ・本資料に記載している内容以外の公園の概要と特性、めざす姿と重点的な目標、取組方針については、神奈川県Webサイトで公表している「個別公園計画」をご参照ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/tu5/kobetsukeikaku.html>